

## 株式会社生出

**所在地** 東京都西多摩郡瑞穂町  
大字箱根ヶ崎1188

**代表者** 代表取締役 生出 治

**設立** 1958年1月

**資本金** 1,000万円

**従業員数** 国内 58名/タイ 150名

**URL** <https://www.oizuru.co.jp/>



現地拠点外観



現地事務所での朝礼風景



現地拠点の工場の全景



効率的な製造ライン



海外展開支援事例

# タイ第2拠点の開設から 現地子会社での物流倉庫新設へ 戦略を見直し 将来のビジネス拡大を図る

 THAILAND

## ○ タイでも日本と同じ高品質の物流・包装サービスを

緩衝包装設計技術を得意とする当社の事業は大きく3つに分かれています。主業は通信機器・医療機器・コンピュータなどの精密機器メーカーを顧客として、物流・包装で起きる様々な問題を解決する包装事業。他に企業の物流周辺業務の一部を当社が担うBPO事業、石油由来原料の使用割合を減らした緩衝包装製品を自社開発するエコマテリアル事業を展開しています。

海外進出の面では、2002年に日本とほぼ同じ設計・生産・営業の機能を揃えた子会社をタイに設立。当時、顧客の多くがタイに生産拠点を設けたため、現地で日本国内と同等のサービスを提供しようと考えたからです。現在、タイに進出し約20年が経ちましたが、タイのマーケットでの我々のシェアはまだわずかです。さらにサービスを向上しビジネスの拡大を図るため、「タイ国内の成長著しいラヨーン県に第2拠点を作ろう」と思い立ち、公社の支援を受けることにしました。

## ○ ワンストップで受けられた貴重な多角的支援

まずは『海外戦略策定講座』を受講し、準備や心構え・リスクマネジメントなどを勉強。支援が決まった後は、ナビゲータやコンサルタントの方に環境分析や採算確保など戦略策定で不足していた点を指摘していただきました。担当ナビゲータはご自身も現地法人の立ち上げ経験がある方で、そのアドバイスは説得力がある貴重なもの。聞きづらいことも遠慮なくうかがうことができました。

2020年には担当ナビゲータとともに現地を視察し、タイ工業団地公団本部やラヨーン県工業団地を訪問。自分ではアポイントを取ることが難しい相手でも、公社が全て手配してくれました。公社のタイ事務所からは現地子会社に対しての販売支援やマーケティング、タイにおける環境問題の調査などをワンストップで受けることができ、非常にありがたかったです。また公社紹介により国際協力銀行からタイ子会社への融資も実現しましたが、これも支援を受けなければ知る機会はありませんでした。

## ○ 公社の様々なサポートを今後のチャンスに活かす

現時点ではコロナ禍で先が見通せないと判断したため第2拠点開設は一旦中止し、現地子会社の敷地内に物流倉庫を作ることとしました。それをフル稼働し収益を上げ、将来的に第2拠点を設けていこうと考えています。

自動車産業が強いタイでも近年は精密機器メーカーが伸びており、今後さらに日本の高い緩衝包装設計技術が求められることや、環境問題に対しても日本で培ってきた我々の技術が役立つと考えています。コロナ禍をきっかけに多くのメーカーがサプライチェーンの見直しを行っており、東南アジアに第2の生産拠点を作る動きも活発です。我々にとって、事業を成長させるチャンスは十分あるので、公社から受けた様々なサポートは、今後の展開に活かしていきます。